

第2回定例会

平成30年第2回定例会は、6月4日から13日まで、10日間の会期で行いました。議案3件、同意1件、承認2件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。また吉岡町振興公社の経営状況など、報告4件がありました。

食堂売上高増 上武国道開通影響か

平成29年度吉岡町振興公社の事業報告、および30年度の事業計画の報告がありました。

当期総売上高は、1億9043万円（前年対比816万円増）でしたが、人件費7781万円（270万円増）、一般管理費では燃料費、修繕費および減価償却費などが7102万円（539万円増）、食材費などの増加で純利益564万円（140万円減）でした。リバートピア吉岡の

年間温泉入館者数は、通年券や半年券での入館者の減少により27万6106人（3257人減）ですが、4時間券の入館者が2591人増で、昨年度以降入館者の下げ止まり傾向。収入では、通年券収入が減少したものの、温泉施設売上高・売店売上高が増、特に食堂売上高は5839万円（497万円増）で、純売上高1億4874万円（639万円増）でした。緑地運動公園の年間

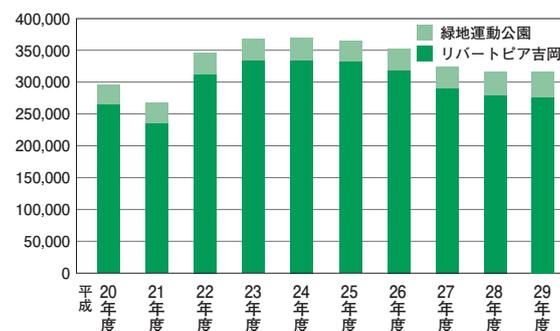


老人クラブ主催グラウンドゴルフ大会

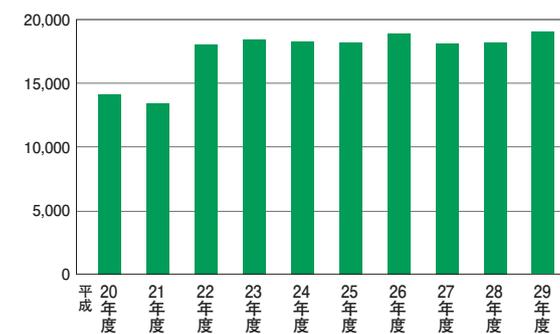
(株)吉岡町振興公社経営状況報告

売上高上がるも収

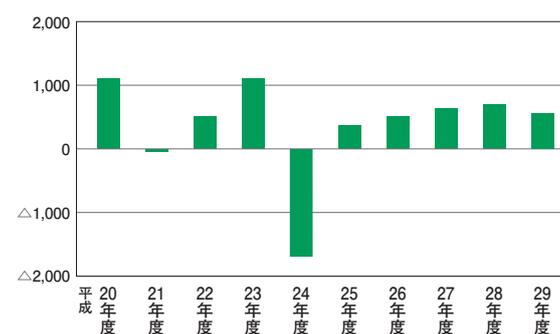
利用者数の推移



総売上高の推移



純利益の推移



利用者数は、ケイマンゴルフ5148人(1051人増)、パークゴルフ1万9741人(751人増)、グラウンドゴルフ9839人(461人増)、テニス4554人(120人減)。合計利用料は1797万円(186万円増)でした。

施設を取り巻く環境として、上武国道の全線開通によりアクセス性は向上しているほか、駒寄スマートICの大型車対応化の予定で広域的な利用者の増加が期待されます。30年度事業計画では、新聞・テレビなどは、PR活動の充実をほかに、複合施設としての魅力を発信することにより、町民はもちろん県内外に向けた誘客活動に取り組みます。

緑地運動公園では、グラウンドゴルフ場をパークゴルフとグラウンドゴルフの併用利用による全国公認コースの取得のための申請を予定しています。

前橋市に同じような施設ができるが、対応策は、前橋市の道の駅を脅威と考えず、いいところ・ないところを補って相乗効果を生み出したい。

問 ケイマンゴルフが、利用者数・利用料共に25%増加している要因は。また、ケイマンゴルフに注力が必要か、駒寄スマートIC

答 積極的に注意を促したい。

問 最近温泉に入れ墨をした人が多くいるが。

答 上武国道開通から町外の利用者が増えている。パークゴルフの36ホール化もケイマンゴルフをつぶすのではなく、グラウンドゴルフの一部併用の方向。